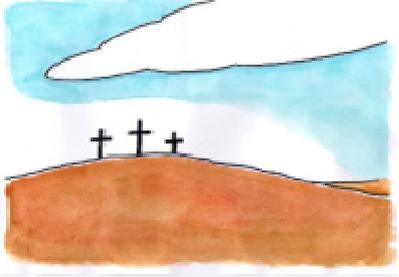
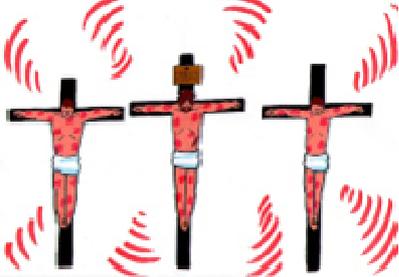
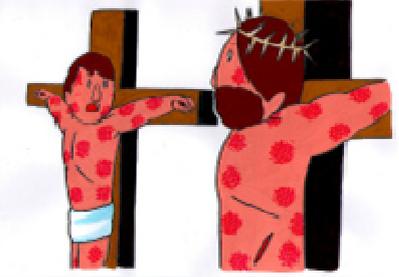
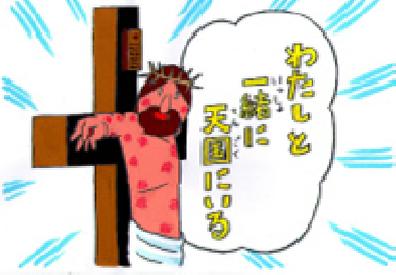
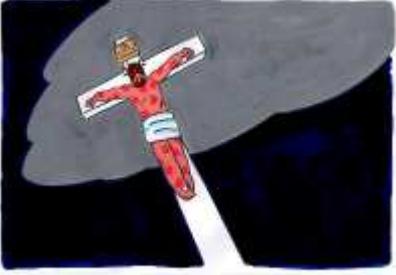


聖書	ルカ23：26－49
タイトル	十字架につけられたイエス様
教案日付	2015年 3月29日

項目	イラスト	お話し
I	a 	イエス様はゴルゴダの丘で十字架につけられました。
	b 	イエス様は二人の犯罪人と一緒に十字架につけられました。イエス様の頭の上に、「これはユダヤ人の王」と書かれた札がかけられました。それを見ていた人たちは、イエス様のことをばかにして、悪口を言いました。「救い主なのに自分は救えないのか!」「イスラエルの王様なら十字架から降りてみる。そうしたら信じてやるよ。」
	c	
II	a 	イエス様は、十字架にかかっている間、どんなに苦しかったでしょう。手や足に釘を打たれ、血が流れていました。でも、イエス様は言いました。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは何をしているのか、わからないのです。」
	b 	イエス様と一緒に十字架にかけられた犯罪人の一人は、「おまえがキリストだったら、俺たちと自分を救え!」と言いました。しかし、もう一人の犯罪人は、「私たちは自分が悪いことをしたから十字架にかけられた。でも、この方は何も悪いことはしていない。イエス様、天国に行ったら、私を思い出してください。」

項目	イラスト	お話し
Ⅱ c		<p>すると、イエス様は言われました。「今日、あなたはわたしと共に天国にいます。」</p>
Ⅲ a		<p>十字架にかけられた時は昼でしたが、空は夜のように真っ暗になりました。</p>
Ⅲ b		<p>イエス様は最後に大声で叫びました。「父よ。わたしの霊をあなたにおまかせします！」</p>
Ⅲ c		
結論 (適用)		<p>イエス様が十字架にかかって下さったのは、私たちを罪から救うためでした。ですから、イエス様のことを「救い主」と言うのです。教会に十字架があるのも、それを見て私たちが神様に感謝するためです。みなさんは、イエス様を自分の救い主として信じますか。神様に赦していただきたいことがあったら、今お祈りしましょう。神様は、どんな人の罪も赦して、天国に行く約束を与えてくださいます。</p>

### 使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること